

平成25年度第2回「佐世保市食育推進会議」議事録

- 1 日 時 平成26年2月19日（水） 19時から21時まで
2 場 所 中央保健福祉センター（すこやかプラザ）8階「講堂」
3 出席者 〈委員〉
柴田会長 野々村委員 田中委員 小松委員 外尾委員
吉村委員 山田委員 前田委員 山口委員 川崎委員
岡委員 井手委員 松田委員 萩原委員 眞弓委員
加瀬川委員 大久保委員

〈事務局〉

大山保健福祉部次長 湯村健康づくり課長
吉住健康づくり課長補佐 藤木副主幹
丸山 志方 赤木 山西

- 4 議 事 ①平成25年度第1回食育推進会議でのご意見に対する報告
②佐世保市の食育推進における
各団体からの状況等に関する調査票の報告について
③各団体からの食育推進に関する意見交換
④その他
5 質 疑

【事務局】

開会のことば
次長挨拶
会議成立の報告
資料の確認、情報公開について

【柴田会長】

会長の柴田でございます。それでは会議を進行いたします。
会次第によりますと、本日は議事として、3項目が挙げられています。
まず、議事1「平成25年度第1回食育推進会議でのご意見に対する報告」について、事務局からの報告を求めたいと思います。

【事務局】

第1回食育推進会議でのご意見に対する報告をいたします。資料1をご覧ください。

1 栄養ケアステーションとの連携、活用等について

まず、「栄養ケアステーション」とは、登録した管理栄養士、栄養士が、医療機関や事業所、行政機関等県民の方々に対し、栄養支援を行う拠点です。

今年度、栄養ケアステーションと長崎県栄養士会佐世保支部と佐世保市食生活改善推進協議会との協働による料理教室が第1回の食育推進会議（6月27日）後の6月29日に実施されましたので、経過のご報告をします。

長崎県立の高等学校から食生活改善推進協議会の活用と高校生の栄養、食事について、講話・調理実習についてお尋ねがありました。食生活改善推進員は、一般の方よりは食生活全般の学習については経験豊富で、調理実習は得意なところですが、高校生の栄養については、やはり専門職（管理栄養士）の力を必要としました。そこで、「栄養ケアステーション」に依頼され、高校生の栄養、食事については、「栄養ケアステーション」から依頼された管理栄養士が出向き、講話を行いました。次いで食生活改善推進員による簡単な食生活のあり方の説明と調理実習が実施されました。参加人数は、高校生10人と少人数でしたが、これからの展開を期待しています。

食育の推進には各団体の連携が必要ですが、今回の例は食育の専門職の団体と食育を実践するボランティア団体との連携の一例と思われます。

今後も食育を推進する団体が、お互いに補完しあい、連携し市民の食育への推進が展開できればより効果的に食育の推進ができるものと思います。

2 食ナビの分煙・禁煙のみで登録をしている店舗の登録数について

健康づくり応援の店を掲載している食ナビについて、分煙・禁煙のみで登録をしていた店舗があり、新しい登録の方法では、減ると予測されました。現在、新しい食ナビの作製作業中ですが、予測どおり、平成24年3月末の114店舗から85店舗に減少しております。なお、新しい食ナビの冊子については、平成26年の会議において配布できる予定です。分煙・全面禁煙については、別の登録の取扱いとなる予定です。

3 アレルギー食の料理教室の今後について

現在、佐世保市では実施しておらず、今後の開催についても具体的な開催計画はありません。

現状では、離乳食・アレルギー食のご相談等については、健康づくり課に在籍している管理栄養士で対応しておりますので、お気軽にご相談いただければと思います。また、アレルギー食の料理教室の開催については、長崎県栄養士会の栄養ケアステーションを活用するという方法もございます。ただし、定められた料金が発生いたします。

【柴田会長】

どうもありがとうございました。説明に関するご質問等はありませんでしょうか。

なければ、議事2佐世保市の食育推進における各団体からの取組の状況についての調査票をご提出いただいた各団体の委員から、報告をお願いいたします。

～各委員からの報告～

【外尾委員】

佐世保市歯科医師会の取り組みを紹介します。

まず、「各年代における各種歯科健診」を実施しています。問題点としましては、幼児～高校までは法的なこともあり100%受診されているが、「18歳以上の健診率が

低いこと」、「寝たきり及び施設入所者の健診がなされていないこと」が挙げられます。施設に入居されていない高齢者・障害者の摂食機能に関しては、データがないという現状です。行政または他の団体へ期待する取り組みとしましては、「市民への歯科健診の広報」を活発にさせていただくこと、可能であれば、「寝たきりや施設入所者の歯科健診の実施及び摂食機能のデータの取得」をしていただけたらと思っております。

最後に、「嚙ミング30の推進」について、関心がある人々の割合よりも、実際に実行している人の割合を把握した方がよいのではないかと思います。行政または他の団体には、今後更に嚙ミング30の推進を図っていただきたいです。

【吉村委員】

長崎県栄養士会佐世保支部の取り組みを紹介します。

まず、「嚙ミング30の推進」を目的として、デンタルフェスティバルにて、歯による料理の紹介、リーフレットの配布、様々な食品の糖分量展示等を行っています。問題点としましては、島瀬公園を会場としており、通行中の方が多く、長くは立ち止まってもらえないことが挙げられます。来年度からアルカス SASEBO での開催になりますが、興味を持つ人しか来ないのではないかと予測され、依然として集客の問題などが残っています。

次に、栄養士会主催研修会を市民に公開する、「市民公開講座」を行っています。問題点としましては、案内の周知が不足しており、参加者が少ないことが挙げられます。

最後に、日本栄養士会ホームページにおいて「ライフステージ別食育」を展開中です。

【事務局】

本日は、安部委員が欠席のため、代理で読み上げさせていただきます。

長崎県公立高等学校・特別支援学校校長会の取り組みについて、佐世保北中・高等学校の例を紹介します。

「食育」の関心についての取り組みとして、「食育講演会開催」、「食生活および生活習慣に関する調査」、「ヘルシークッキングコンテスト等への応募」、「手作り弁当を持って幼稚園訪問実施」、「調理実習の取り組み」、「県運動部部活動指導者派遣事業トレーナー派遣」などが挙げられています。問題点としましては、継続した取り組みをしたいが、予算や協力機関がないということが挙げられています。行政または他の団体へ期待する取り組みは、取り組みに対する補助費や協力機関を行政に提供していただきたいとのことです。

地産地消の推進に関する取り組みとして、「魚市場協会主催でのお魚料理教室」、「郷土料理実習」、「和食弁当」、「手作り弁当を持って幼稚園訪問実施」などを実施されているようです。

【山口委員】

佐世保市保育会の取り組みを紹介します。

給食部会を定期的に開催し、成長期の乳幼児に対し、給食内容の充実を図るととも

に食育を推進することを目的とし、調査・研究及び研修を行い、全市内保育所が研鑽していきたくと考えています。

まず、基本目標 1、11 に関する取り組みとして食育インストラクターによる「講演」を企画しました。講師の先生には、「食育の目的や現代の食」、「日本人に合った食事（発酵食品・行事食等）」、「地域で取り組む食育（小さな社会の形成）」についてご講話いただきました。

次に、基本目標 1、7、9 に関しまして、長崎国際大の先生による「離乳食の進め方・食物アレルギーについての講演」を開催しました。その際、各園の取り組みを発表し合いました。この時、問題点として、4 か月児健診で行政の方からも離乳食の進め方の指導も行われていると思いますが、保護者の解釈が違うのかズレがあり、大切な咀嚼・嚥下の時期に適切な食が形成されず、保育園の給食でつまずく乳幼児もいることが挙げられました。講師の先生からは、食物分子の小さいものからどんどん進めた方が良いとご指導を受けました。

次に、基本目標 1、6、14 について、保育イベント「親子であそぼ」を開催しています。内容としましては、佐世保駅前広場で市内親子へ食のアピールコーナー、相談窓口、給食メニューの展示やレシピの配布、はしの持ち方コーナーなどを実施しています。

次に、基本目標 1、11 に関しまして、食育体験「味噌作り」を実施しました。

最後に、基本目標 1、7、9 に関しまして、主任保育会にて「離乳食・食物アレルギー対応食について」の研修を行いました。この時、食物アレルギー児に対する食事の面では、対応食・提供方法で各園、神経をすり減らしているのが実情であり、大量調理の中で、手のこんだ離乳食・アレルギー対応食を作りたいが、手が足りないといった問題点が挙げられました。

【松田委員】

ながさき西海農協組合の取り組みを紹介します。

まず、基本目標 1 に関しまして、「食農教育」を実施しております。平成 25 年度の実績は、市内 8 小学校・1 幼稚園、延べ 2,800 名でした。

農産物の栽培、収穫、加工の体験を通して農作物の命を頂く心や、作り手の大変さ、安全安心へのこだわりを伝えることや、栽培することでの好き嫌いの解消で地産地消、国産農畜産物消費拡大や農業への理解につながればと考えています。同時に、食農教育に取り組んだ小学校を対象に、取り組みの内容や、取り組みからの学びを壁新聞にまとめてもらい、「壁新聞コンクール」を実施しています。この事業の問題点としましては、①JA と JA の青年部、女性部がこの事業を実施していますが、栽培、収穫、加工までには相当の期間を要することから、青年部、女性部への負担が大きいこと、②経費がかかることなどが挙げられます。

次に、基本目標 3 に関しまして、「学校給食青果物地産地消関係協議会において、地元農産物の供給」を行っています。問題点としましては、①給食の食材として周年を通して、同一品目を安定供給することが難しい、②タイミングが合わず、スポット的な販売となり、対応が煩雑になる、③規格等により供給できない場合もある、④商品・

時期によって、価格が折り合わない場合がある、などが挙げられています。原体供給の他、粉末等の加工や一次加工した商品も原料にしていれば、6次化への取り組みが加速し、長期的に供給が可能となるため、供給する品目の拡大が期待できると考えています。

基本目標11に関しまして、直営店舗として、させば南部地区に2店舗（日宇・江上）を運営し、「地元農畜産物の地産地消の拡大と共に地域の発展」に取り組んでいます。今では、地元農畜産物を安定供給できる場所として地域住民へ定着し、また地元組合員のコミュニティーの場所としても活躍しています。問題点としましては、食育を推進する活動・取組を行っていないことが挙げられます。行政または他の団体へ期待する取り組みとしましては、①行政が主となり農商工が連携した地域イベント等を積極的（定期的）に実施し、地元農畜産物をPRできる支援をしていただきたい、②観光、体験が出来るための店づくりの支援、③集客に繋がるための店舗のPR、などが挙げられます。

【萩原委員】

佐世保市水産振興協議会の取り組みを紹介します。

まず、基本目標6に関しまして、長崎県北水産課による、小佐々、鹿町地区中学校での「魚のさばき方教室」を開催しています。これは、九十九島漁業組合が行っています。現在は、指導者として、漁業士、女性部漁協職員で行っていますが、学校の先生が、年2回は、学習として行い地元水産物の普及に努めていただけたらと思っています。

その他、「活魚などの見学」、「放流活動の見学」なども行っています。

魚を、学校給食で活用したいのですが、いろいろと問題点があり、難しい現状です。以前、旬の魚を学校給食に取り入れることを試みたのですが、難しかったです。

【加瀬川委員】

家庭での取り組みを紹介します。

基本目標9に関しまして、「食事の一口目に、みんなで30回噛んで食べる」習慣をつけるように心掛けています。この時、食事の時間が長くとれるように時間に余裕を持つよう心掛けています。行政または他の団体へ期待する取り組みとして、保育園でもよく噛んで食べるようにスローフードを推進してもらえたらと思います。

基本目標12に関しまして、農家で「野菜のなり方や収穫」を勉強させてもらっています。お米の作り方を学び、プランターでお米を育てたことで、子どもがお米を炊く事ができるようになりました。この時、お米の脱穀、精米が大変でした。行政または他の団体へ期待する取り組みとして、農業体験ができる機会が増えてほしいと思っています。

基本目標14に関しまして、正しいはしの持ち方を練習させています。大豆やいりこなどの食材を使って、楽しみながら行うようにしています。行政または他の団体へ期待する取り組みとして、基本的には家庭で、正しく使えるように練習していますが、保育所でもゲームなど行って練習をしてもらえたらと思います。

【柴田会長】

どうも、ありがとうございました。

では、今の説明についてご質問などございましたらよろしくお願ひいたします。

いろんな取組みが報告されましたが、これ以外にもこんな取組みがあったなどの追加ご報告がございませんか。

【山田委員】

小学校の取組みを紹介します。

小学校では、幅広く食育活動を行っています。

まず、5・6年生の「家庭科の時間」が週に1時間あります。この時間は、調理の仕方、栄養のことなどの技能を学ばせています。

次に、「学級活動の時間」が週に1時間あります。この一部の時間で、食の指導や給食当番、役割、食事のマナーやルールについて学ばせています。

次に、「総合的な学習の時間」があります。これは、対象は3年生以上で各学校で特に取り上げたい事項を取り扱う時間です。針尾小学校では、JAの指導のもと、食農活動を行っています。内容としましては、講話、みかん栽培、野菜栽培、壁新聞コンクールへの参加などを行っています。その他、スーパーのバックヤードの見学なども行い、食べ物が届いて店頭に並ぶまでの一連の流れを学習しています。

次に、「学校行事」として、学校給食週間を利用して、児童に、食への感謝、食を作っている方への感謝について改めて考える機会を与えています。この時、栄養教諭がない学校は他の学校から来ていただき、指導していただくこともあります。

次に、日常的なものとして、「給食時間の指導」を継続的に行っています。時間は45分間で、準備から片付け、歯磨きまでの指導を行っています。

また、「PTA行事」の中でも食育を行っています。針尾小では、親子交流の魚釣り、放課後や土日の子ども教室、おやつ作り教室などを実施しています。

最後に「保健指導」の中で、8020運動として、歯磨き、フッ化物洗口、砂糖について学習する機会を設けています。

【川崎委員】

佐世保市青少年育成連盟の取組みを紹介します。

私たちは、1年を通して「こころねっこ運動」を実施しています。その中で、「子どもが変わるためには大人から」というコンセプトから、早寝早起き朝ごはんを推奨しています。

また、連盟研修会も行っているのですが、今年は「美しい文化」をテーマに、代表中学生によるパネルディスカッションを行いました。その中で、地域との連携・文化としてもちつきが挙がりました。

【野々村委員】

以前行政栄養士として仕事をしていたとき、小学校が土曜日休みになりました。その時間を使って何かできないかと思って、4～6年生30名対象の土曜の料理教室を

開催しました。ボランティアさんに手伝ってもらいながら、調理、試食、片付けまで全て子どもたちが行います。調理道具や調理をするときの音についても講話を行いました。

また、子どもが一般的に好むものより食文化重点のメニューにし必ずおやつ作りを入れるようにしました。子どもたちに興味を持ってもらえるよう、レシピには絵を入れ、食にまつわる詩を入れました。試食中は食事のマナーも伝えました。

それから、親子での参加だと、子どもが親に気をつかってしまうので、対象は子どもだけにしました。子どもたちは楽しく協力し合いながら行い、帰ると家で作っていたようです。

離乳食について、マニュアルはあるが、子どもの発達に合わせて、子どもの歯などの発達についての理解を深めてから進めるとよいのではないかと思います。手の込んだ離乳食ではなくシンプルでいいと思います。

【岡委員】

佐世保市食生活改善推進員の取り組みを紹介します。

俵ヶ浦小学校でおやき作り体験を実施しました。親子祖父母一緒になって作り、給食の時間にできあがったものをよく噛んで食べており、そのあと歯磨きの指導までつなげました。

【井手委員】

佐世保市連合町内会連絡協議会婦人部の取り組みを紹介します。

月に1回、各地区の婦人部会会長の集まりがあり、情報交換を行っています。

一部地域で「食事サービス」を年に2～12回行っているようです。

私の地区では、年に6回敬老会などで食事サービスを行い、町内の方へ減塩弁当などを提供しています。その中では、高齢者の方が多くて、食べることのできないものが増え、提供できない場合もあります。また、こちらが作っている食事は、栄養量などを計算していないので、していただく機会があるといいなと思っています。現在は、年に1回、健康づくり課から食に関する講話をしていただき、勉強しているところです。

今後は、添加物の勉強もしていきたいと思っています。

【柴田会長】

他にはございませんか。なければ、報告された取組に対し、他の団体からのお尋ねなどございませんか。

【野々村委員】

長崎県公立高等学校の手作り弁当をもって保育園訪問について、とても興味のある内容だったのですが、どういった内容だったか詳しくお聞きしてもよろしいですか。

【事務局】

本日は、取り組み団体の委員の方が欠席しており、把握していません。申し訳ありません。

【柴田会長】

事務局にお尋ねですが、取組みに関する問題点等について、ご回答等をいただけるものについて、ありませんか。

まず、外尾委員からの問題点等についてお願いします。

【事務局】

「市民への歯科健診の広報」につきましては、健診のきっかけ作りの目的で、平成25年度より満40・50・60歳の市民の方を対象に佐世保市成人歯科健診の無料クーポン券を送付しています。

「寝たきり及び施設入所者の歯科健診の実施及びデータの取得」につきましては、平成25年9月に市内の高齢者入所施設および障がい者入所施設における歯科口腔保健事業の実態調査を行いました。これは、国の歯科口腔保健の推進に関する法律の「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」の目標値にあるものです。本市においても、「佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画」の基本目標値として掲げています。しかし、施設別の個別の歯科健診結果データの把握まではしておりません。

摂食機能に関する本市の取り組みは、市民の方を対象に、摂食嚥下機能の内容に触れながら、「いきいき介護食づくり教室」を開催しています。

【会長】

ありがとうございました。たしかに、内科的な健診は各事業者でも実施されているようですが、歯科に関してはまだまだ普及していないようです。

次に、吉村委員からの問題点については、栄養士会の内部で、広報の問題など検討はございましたでしょうか。

【吉村委員】

デンタルフェスティバルに関して、島瀬公園を会場としていたので、偶然通りかかった人の興味を引くことができました。しかし、アルカス SASEBO での開催になってしまうと、「デンタルフェスティバルに行こう」と思っている人しか来てくれないので、果たしてアルカスになってよかったのか、交通の便なども踏まえて疑問が残るところです。

しかし、企画がすばらしければ、来てくれる人も増えると思うので、私たち栄養士会でも、新しい試みを行っていきたいと考えています。

【会長】

ありがとうございました。

山口委員の問題点等について、ご意見はございませんか。

【事務局】

現在、健康づくり課で実施している離乳食のすすめ方等の支援について、まず、4 か月児健診時に、第1子目のお子様をお持ちの保護者を対象に、栄養士が離乳食についてお伝えしています。内容としましては、離乳食を食べさせるタイミングについて、開始時の食形態について、アレルギーに注意が必要な食品についてなどをお話させていただいています。また、離乳食のすすめ方のカレンダーなども配布させていただいています。

問題点として、4 か月児健診時には、まだ離乳食を開始していないので、実感がわきにくく、質問などが出にくいこと、1人1人に充てる説明の時間が短いためポイントを絞ってしかお話できないこと、などが挙げられます。資料なども、今後、さらにわかりやすいものに作り直していく必要があると考えているところです。

次に、10 か月児歯科育児相談時に、10 か月ごろの離乳食についてお伝えした後、希望者のみ個別相談を行っています。必要に応じて、資料をお渡ししたり、幼児教育センターが行っている離乳食教室を紹介するなどの対応を行っているところです。

【会長】

ありがとうございました。

松田委員から問題点や行政へ期待される点について、事務局からございませんでしょうか。

【事務局】

本日は、大変申し訳ありませんが、担当課である農林畜産課や水産課の食育に関わる職員が都合により出席できないため、事前に聞き取った内容についてご報告をさせていただきたいと思えます。

食育推進のための予算等については、平成23年度で食育事業・農協などの支援は終了したという報告を受けています。これは、これらの事業については一定の成果がでているという結果からということです。

また、壁新聞コンクールについては、各学校の参加費のみ、第1回目に補助したということでした。

【会長】

ありがとうございました。

壁新聞コンクールは年間70万円というかなりの額がかかっているようですが、内訳としてはどのようなことに費用がかかったのでしょうか。

【松田委員】

送迎のバス代、昼食代、講師を呼んでの講演の時などですね。対象は松浦市や平戸市なども含まれていますので、費用もそれだけかかってきます。

【会長】

加瀬川委員のご報告について、どなたかご意見を伺えますでしょうか。

【山口委員】

スローフードについて、保育所でも推進してほしいというご意見をいただきました。保育団体の方にも推進していくようお伝えはしていきたいと思うのですが、なかなか給食となると、三角食べや箸の持ち方なども大切になってきますし、残さずに食べる、きれいに食べることも子どもたちに伝えていきたいと思えますし、時間も限られてくるので、どうしても最後せかしてしまいます。保育所としては、次の学校給食につなげていかないといけないので、どうしてもゆっくり食べるお子様には早く食べるよう促さなければならなくなります。しかし、30回噛んで食べるということもやはり大切なので、子どもたちにも伝えていきたいと思えます。

【会長】

野々村委員、管理栄養士養成施設として、食育への取り組み等がなにかございましたでしょうか。

【野々村委員】

昨年11月に、長崎国際大学の学園祭「開国祭」にて、健康づくり課でアンケートをとっていただいています。そこでは、健康栄養学科とその他の学科を比較していただいているのですが、やはり、健康栄養学科の方が意識が高いという結果が出ているようです。よかったらその結果について、事務局からお願いします。

【事務局】

「開国祭」での取り組みについてご報告させていただきます。当日は、食事に関する資料を配布し、食育ロゴマーク・共食の日のネーミングのPRを行いました。また、健康栄養学科の学生さんに手伝っていただき、約100名の学生さんに食事についてのアンケートをとりました。

健康栄養学科の学生さんと、その他の学生さんの結果を比較したところ、食事の欠食や、野菜の摂取に関する意識が異なるような傾向が見られました。このことから、食に関する知識を普及することの重要性などを感じています。来年度は長崎県立大学での実施を考えています。この結果を踏まえて、今後、若い世代への働きかけなどを考えていきたいと思えます。

【柴田会長】

私は社会福祉学科に所属しているのですが、やはりそこの学生さんは、お腹が満たされればそれでいいといったような傾向にあるようです。

他に何かございますか。なかったら現在の取り組みについての議論は終了し、今後の取り組みについてうかがいたいと思えます。

【外尾委員】

佐世保市歯科医師会の今後の取り組みを紹介します。

基本目標10に関しまして、「寝たきりや施設入所者の歯の健診及び摂食状態の把握」を行いたいと考えています。現在、どの程度の方が居るのか把握できていません。行政または他の団体へ期待する取り組みとしましては、①個別訪問の可否、②予算についてお伺いしたいです。

【加瀬川委員】

家庭での今後の取り組みを紹介します。

基本目標1に関しまして、食育の大切さを少しでも多くの人に知ってもらうために、まずは身近な人との集まりの機会を作りたいと思っています。また、夏には塩ができる工程を見に行きたいです。子どもの友達や親の方々が楽しんで、食育をしてもらえるようにいろいろな計画を立てたいです。食べ物ができる工程を見ると、興味を持ってもらえるのではないかと思います。行政または他の団体へ期待する取り組みとしましては、親子で参加できるようなイベントを今よりもっと増やしていただけたらと思います。

次に、基本目標4に関しまして、食事バランスガイドを食卓へ置き、子どもたちや身近な人にも知ってもらうようにしていきたいと思っています。食事バランスガイドを参考にして、食生活を見直しバランスよい食事がとれるようになるとよいと思います。行政または他の団体へ期待する取り組みは、ライフステージ別のバランスガイドが保健所でもらえるように整備していただけたらと思います。

最後に、基本目標12に関しまして、漁業体験を行いたいと思っています。魚市場で色々な魚を見て、買って一緒に調理して関連を教えていきたいです。漁業体験を行っていくにあたっての課題として、①漁業を体験できる機会が少ないこと、②道具が必要であること、が挙げられます。行政または他の団体へ期待する取り組みとして、体験や見学ができる機会が増えるようにしていただければと思います。

【柴田会長】

委員の皆様からも今後の取組に対するご意見はございませんか。

【田中委員】

歯科医師会から出ている歯の健診のことについて、施設に入所されていれば、入居の管理者の内容の確認などでなんとかできるかもしれませんが、在宅となるとちょっと難しい部分もあります。かかりつけの内科・外科の先生がいれば、介護認定をするときに、主治医意見書を半年や1年ごとに書きます。その時に、口腔内の状況をチェックする項目があるのですが、チェックしたあとにどれだけ歯科への紹介や相談がなされているのか、そういったところでも変わってくるかと思っています。どうしても、内科的などところは重点的に見るのですが、口腔については少し疎かになっている部分があるのかなと思います。

【外尾委員】

実際どのようにチェックされているか、こちらも把握できていない部分があります。

【田中委員】

内容としては、義歯があるなど簡単にチェックするだけのようです。そこで異変に気付いた時点で、歯科の方に連携できればと思います。

【外尾委員】

連携は当然必要なことなので、今後検討していきたいと思います。

【会長】

他にはございませんか。

【萩原委員】

漁業体験ができる機会がふえればという意見がでました。

農業体験と漁業体験の違いは、漁業体験は規制が厳しいという現状があります。漁船漁業は、まず漁船は登録制、漁師は乗れるが一般の人は乗れません。一般の人を乗せるには、資格を取って検定を受けなければならない、取得してからも更新や研修を受けなければいけないという問題があります。そのため、なかなか漁師は一般の人のためだけにそこまではできない現状です。今は、他から船をチャーターして船に乗る体験や民泊をしているところも増えてきているようです。

小佐々の小学校の青年部で実際にした例では漁業マイスターということで、私が講師として講話を行ったのですが、その後午後から実際に船に乗ってということをやったことがあります。

九十九島漁業では、その他に毎年4月にお魚祭りなど開催しております。漁業体験はできませんが、小さい漁船に乗る体験はできますので、お気軽にお越しいただければと思います。

あとは、学校や地域の事業でそういう体験を組んでいただければと思います。

【会長】

ありがとうございました。他にご意見はありませんか。

【真弓委員】

私個人で行っていることに関して報告させていただきたいと思います。

世知原の肉屋なのですが、鶏・豚の解体をやり、いただきます、ごちそうさまの考え方をお伝えしています。依頼があれば、行くことは可能です。

私は調理師専修学校の講師もやっている関係で、年に3教科持っています。豚と鶏と牛と、一番簡単に皆さんにお伝えできるのは鶏かなと思います。原材料もそんなに高くありませんし。

今のお母さんたちや先生たちは軟骨を異物として取り上げる、どういうふうな生い立ちでできているのか知らない方もいらっしゃると思います。

小さい軟骨は目視をするけれども、どうしても取れなかった部分もあります。私は学校給食の食材も納入していますが、そういうときは呼び出しをされて現物を持っていくといったことがあります。たしかに、軟骨ですから、絶対大丈夫とは言い切れないのですが、入る場合もある、今の人は、軟骨を異物としてとるのか、本当にその素材として扱うのか、知ってほしいなということで、私はそういう活動を行っています。

ですから、みなさんから、ぜひ来てほしいというお声があれば行きますので、言っていただければと思います。

【柴田会長】

ありがとうございました。今、解体を見るということは実際なかなかないですね。

【岡委員】

親子で参加できるイベントをもっと増やしてほしいとありますが、夏休みを中心としてやっています。各地域で行っております。よろしかったらお出かけください。

【柴田会長】

議事3「各団体からの食育に関する意見交換」となっておりますが、すでに意見交換いたしましたのでよろしいでしょうか。

～～異議なし～～

今後の取組については、現在の取組を踏まえ、食育の推進に向けて展開され、「食から始まる豊かな暮らし」の充実がなされるよう期待いたします。

それでは時間も迫ってまいりましたので、本日この場で議論したことを集約いたします。

今回は、調査票及び各委員のご発表により、各団体の食育の現在の取組みや今後の取組をご発表いただきました。また、問題点等につきましては、今後の食育推進会議において議論を重ね、よりよい食育の推進について十分な検討が行なわれることを期待しております。

本日、予定された案件は、全て終了いたしました。これで会長の任を降りたいと思います。皆様のご協力でつつがなく、議事が終了いたしましたことを感謝申し上げます。

【事務局】

では最後に、次回の会議の開催日程についてですが、日程につきましては、会長と協議させていただき、委員の皆様には改めてご連絡を差し上げたいと思いますが、よろしいでしょうか。

～～～異議なし～～～

では、会議開催のご案内については、後日お送りしたいと思います。

それでは、平成25年度第2回の食育推進会議を閉会いたします。

今後とも、市の食育の推進にご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。
皆様、長時間お疲れさまでございました。本日は、ありがとうございました。